

1. 解説編

平成13年度の電源・配電設備総合の1需要家当たりの停電状況を第1-1表、需要家停電回数および、停電時間の推移を各々第1-1図、第1-2図に示す。

前年度に比べて、事故停電は、災害がなかったことなどにより、停電回数・時間ともに減少している。また、作業停電は、停電回数・時間ともにほぼ横ばいである。

(1) 事故停電

停電回数(0.11回)は、前年度(0.14回)より減少しており、停電時間(6分)も前年度(9分)より減少している。

電圧別に前年度と比べると、電源側、高圧側とも、停電回数・時間ともに減少している。

事故停電は、経年的には災害の影響を除けば、設備の強化や台風対策、耐雷対策等の効果により、停電回数・時間とも低い値になっている。

(2) 作業停電

停電回数(0.05回)は、前年度(0.04回)とほぼ同値、停電時間(5分)は、前年度(5分)と同値であり横ばいである。

電圧別に前年度と比べても、特に差異は見られない。

作業停電は、従来は年間工事量の多寡の影響を受けていたが、最近は無停電工法の導入・定着化等により、停電回数・時間ともに低い水準で推移している。